

福島医大 医学生通信

Vol.35
2021.9

ステップ・アップ・セミナー

当院では、毎週研修医セミナー室やスキルラボで研修医向け勉強会ステップ・アップ・セミナーを開催しています。

【8・9月のステップ・アップ・セミナー】

- 8/7 サマーセミナー
- 8/25 救急症例検討会
- 8/31 UP TO DATE の使い方
- 8/31 麻酔科セミナー
- 9/7 総合内科勉強会
- 9/14 「エビデンスの作り方入門編」
- 9/29 救急症例検討会



研修医サマーセミナーを開催しました！（8/7）



8月7日（土）に、福島県内の臨床研修医を対象に、サマーセミナーを開催しました。

当日は、本学内会場と併せてWeb会議システムZoomを使用したオンライン開催を行い、本学附属病院研修医15名を含めて70名の参加がありました。

今回は、ACP（人生会議）研修として、「患者の意思決定～チームで支え、チームでつなぐ」というテーマで、本学附属病院患者サポートセンターの岩崎美樹看護師長、門馬成郎主査にご講演とグループワーク演習を行っていただきました。

参加者は、講師による終末期の患者さん支援についての豊富な経験を交えたお話やグループワークを通して、患者さんのこれからの人生を伴い、意思決定を支援するにはどうすればよいか真剣に考えていました。



先輩からのメッセージ（研修医2年次 佐々木 庸輔）

卒後臨床研修については、一般的に「実践の市中病院vs理論の大学病院」といった二項対立で語られることが多いかもしれませんが、しかし、当院の研修は自分のモチベーションや余力に合わせて、県内はもちろん全国の連携病院での研修も自由に選択できますので、そもそもこのような比較に拘泥する必要はありません。

大学病院での研修は、その専門性の高さ故に、臨床医としての裾野が狭くなってしまいうのでは？という個人的な不安もありましたが、それは全くの杞憂に終わりました。

なぜなら、病歴聴取、身体診察、診断推論といった基礎的な技術の土台なくして専門性の高い医療など成立し得ないからです。

それゆえ、研修では臨床医としての自らの地歩を磐石なものにするべく、上級医の丁寧且つ細緻なフィードバックを受けながら、日々これらの基礎の愚直なる反復・継続が求められます。

当院は県内唯一の大学病院であり、医師に限らず、医療スタッフの皆様の研修医教育に掛ける熱量がもの凄いです。そして学生も実習を行っているため、自らの知識のアウトプットの機会にも恵まれています。このように、私たちは、互いに教え合いながら学ぶ、教育的な環境下で、自由闊達に臨床能力の涵養に努めています。

また、多様性に寛容な研修環境のため、その門戸はとても広く、県内、全国、海外からも多くの研修医が集っており、その背景も様々で、お互いに刺激し合いながら連帯感を持ちつつ成長していくことができます。

魅力を挙げれば枚挙に暇がありませんが、百聞は一見に如かずということで、是非気軽に見学にお越しください。

いつか皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています！！



福島県立医科大学附属病院 研修医2年次
佐々木 庸輔 先生
(福島県立医科大学出身)



お問い合わせ

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL:024-547-1047 (直通) FAX: 024-547-1715
E-mail: cmecd@fmu.ac.jp / HP: <https://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/index.html>

医療人HP

